

明治学院大学研究データ管理・公開ポリシー

2024年7月17日 大学評議会承認

明治学院大学（以下「本学」という。）は、「キリスト教による人格教育」を建学の精神とし、創設者ヘボンが生涯貫いた精神“Do for Others(他者への貢献)”を教育理念に掲げている。その教育理念をふまえて、研究者の自由な発想により、独創性豊かで多様な研究活動を展開してきた。これからも研究成果の社会還元と優秀な研究者の輩出により、社会に貢献していくために、研究活動の推進に取り組んでいる。

このような背景を持つ本学は、研究データを適切に管理し、研究データの価値を守り、優れた研究を行うこと、研究データの公開により利活用を促進し、研究データの価値を高めることを目的として、本ポリシーを以下のとおり定める。

なお、本ポリシーは、本学における研究データの管理、公開及び利活用に関する方針を示すものであり、法令、契約、本学が定める規程等の実施に制約を与えるものではない。

（研究データ）

1. 本ポリシーが対象とする「研究データ」とは、本学における研究活動の過程で研究者等によって収集又は生成された情報を指し、デジタルか否かを問わない。

（研究データの管理）

2. 本学は、原則として、研究データを収集又は生成した研究者等がその研究データの管理を行う権利と責務を有していることを認め、研究者等は、研究データの価値を守るため、それぞれの研究分野の特質を踏まえ、その法的及び倫理的要件に従って研究データ管理を実施する。

（研究データの公開）

3. 研究者等は、それぞれの研究分野の特質を踏まえ、その法的及び倫理的要件に従って、可能な限り社会に研究データを公開し、その利活用を促進する。

（大学の役割）

4. 本学は、研究データの管理及び公開を支援する環境の整備を推進する。

（その他）

5. 社会や学術状況の変化に応じて、適宜本ポリシーの見直しを行うものとする。